

2023年3月28日

鹿児島大学病院 脳神経外科で
眼窩腫瘍の治療を受けた患者さんへ
(生命科学・医学系研究に関する情報)

当院では、以下の生命科学・医学系研究を実施しております。生命科学・医学系研究とは、従来の臨床研究、疫学研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究を含み、人を対象として国民の健康の保持増進、患者さんの傷病からの回復、生活の質の向上に資する知識を得る等を目的とする研究のことです。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

眼窩腫瘍の臨床像に関する研究

【研究の目的】

眼窩の中に発生する眼窩内腫瘍は、その発生部位や疾患により加療方針、手術の方法、後療法、予後が大きく異なります。しかし、眼窩腫瘍の頻度が少ないために、その手術に関するまとまった報告が少ないのが現状です。近年高齢化に伴い、同領域の疾患頻度が変化し、また診断・加療の方法・方針も変化してきています。鹿児島県においては、眼窩内腫瘍の手術は当院脳神経外科が担当することが多く、眼窩腫瘍の手術症例を検討することで眼窩腫瘍の臨床的特徴を把握することが可能と考えられます。そこで、それをもとに、眼窩腫瘍の診断・治療方針の決定における指標を示すことを目的とします。

【研究の方法】

眼窩腫瘍の手術を受けた患者さんについて、過去の診療録、画像検査データ、手術時ビデオから①発症年齢、②症状の特徴、③診断、④発生部位、⑤手術の方法、⑥術後の後療法などのデータを抽出し、眼窩腫瘍における臨床像と傾向を抽出します。

【研究期間】

研究実施許可日 ～ 2028年3月31日

【対象となる患者さん】

2000年1月1日から2027年3月31日迄の間に、眼窩内腫瘍に対する手術を行った患者さんを対象とします。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

診断病名、診断や術後経過の評価のために行った検査、術中写真を含めた手術記録、症状の経過などを参照させていただきます。

【研究組織】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

鹿児島大学病院 脳神経外科

教授 花谷亮典

【試料・情報の管理責任者】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長 井戸 章雄

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科学分野の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

教授 花谷亮典

電話 099-275-5375 FAX 099-265-4041